

# 化学物質を扱う職場での全身悪化から2か月の休職を経て復職した成人アトピーの経過 (32歳男性)

症例 ID：001-30-OYo | 記録日：不明

## 1. 診断・治療前経過

高校期に甲状腺機能亢進症の治療開始後から発疹が出て、皮膚科で少量のステロイド外用を行いました。  
化学薬品メーカー勤務中に再燃し、東京への留学中に全身症状と頻回のヘルペスが強くなりました。

## 2. ステロイド使用歴

| 項目    | 内容                                        |
|-------|-------------------------------------------|
| 使用内容  | 症状時にステロイド外用薬を使用し、東京での治療では全身に強い外用薬を使用しました。 |
| 製品名   | 製品名は不明です。                                 |
| 強度    | 強い外用薬を含みます。                               |
| 使用期間  | 高校期から成人期まで断続的に使用しました。                     |
| 中止時期  | 松本医院での治療開始時です。                            |
| 来院前／後 | 来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。              |

## 3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

| 時期       | 治療開始から | 経過                             |
|----------|--------|--------------------------------|
| 高校期      | 発症     | 甲状腺治療開始後から発疹が出て、ステロイド外用を行いました。 |
| 大学～就職後   | 一時安定   | 大きな支障なく生活していました。               |
| 化学薬品取扱期  | 再燃     | アルデヒド類を扱う時期に症状が強くなりました。        |
| 東京留学2か月頃 | 全身悪化   | 全身湿疹、顔の赤み、頻回のヘルペスで外出も難しくなりました。 |
| 大阪帰還後    | 治療開始   | ステロイドを中止し治療を開始しました。            |
| 約2か月後    | 職場復帰   | 症状が軽減し、元の職場へ復帰しました。            |
| 復職約6か月後  | 経過中    | 化学薬品を扱っても大きく悪化せず、ほぼ元の状態となりました。 |

## 4. ピーク時期

ピークは、東京留学中に全身湿疹と顔の赤み、頻回のヘルペスが重なり、外出も難しくなった時期です。

## 5. 困りごと

- 全身症状とヘルペスで仕事と外出に支障がありました。
- 治療のため約2か月休職し、家族の支援が必要でした。

## 6. 経過のまとめ

治療開始約2か月後に元の職場へ復帰しました。

復職約6か月後には化学薬品を扱っても大きく悪化せず、ほぼ元の生活を送っていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。  
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。